

## 男性が子育てに積極的に参加する地域コミュニティづくり ～父親の育児参加で家族の絆を強くする～

パパの育児休業支援センター 代表 ○古山 陽一

### 1. 活動方針・目的

男性の育児休業取得が進みません。現在、約3割の男性が育児休業を取得したいと希望している一方で、実際の取得率は2.63%にとどまっています。また、日本の男性が子育てや家事に費やす時間は先進国中最低の水準にあり、そのことが女性の継続就業や出生率に悪影響を与えているとも言われています。

パパの育児休業支援センターでは、男性の育児参加に関する調査、研究並びに啓発活動を行うことにより、男性の育児参加を促し、男性も仕事と家庭を両立させ、夫婦で協力して子育てに関わっていくことで、子どもを産みやすく、育てやすい地域社会の実現に寄与することを目的に活動を行っています。

### 2. 活動内容

当センターは、厚生労働省の「イクメンプロジェクト」に賛同し、地域や行政、社会貢献活動に取り組む企業・団体等とも連携をとりながら、看護の心と技を織り込んだ「パパの子育て」セミナーを開催するなど、男性の育児参加を積極的に応援しています。

具体的には、これからパパ・ママになる方とそのご家族の方などを対象に、父親の育児参加についての基本的な考え方、母親の行う育児との違い、実際に男性が育児を行う上で必要な視点や準備等について学んでいただくことで、男性の育児参加に対する関心を高め、地域で子育てに積極的に関わりたいと考える男性の増加につなげています。加えて、仕事と育児の両立に不安や悩みを抱える父親同士の出会いと交流の場を提供することで、子育てにかかる不安や悩み、負担感を軽減し、地域におけるネットワークの構築に取り組んでいます。

### 3. 他の活動団体の参考となる事例

- ・ イベント開催における地域、行政、企業、団体等との協働  
(大阪市立男女共同参画センターと共催にて「ゼロから実践できるパパの子育て講座」の開催)
- ・ SNS を活用した地域コミュニティへの情報発信
- ・ 他団体等への広報協力依頼
- ・ 新聞社など各種マスコミへの情報提供

### 4. 今後の課題等

- ・ ボランティア活動に対する職場の理解と協力
- ・ 行政等に対する提言と政策決定プロセスへの関与
- ・ 大学等研究機関における「知」の活用
- ・ キーパーソンの役割を果たすべき人と組織への教育
- ・ 活動資金の工面

# 第8回 関西元気な地域づくり発表会

## 男性が子育てに積極的に参加する 地域コミュニティづくり ～父親の育児参加で家族の絆を強くする～

平成25年2月5日(火)

パパの育児休業支援センター代表 古山陽一

## パパの育児休業支援センターとは

### ◇目的

男性の育児参加を促し、夫婦で協力して子育てに関わっていくことで、子どもを産みやすく、育てやすい地域社会の実現に寄与すること。

### ◇活動内容

地域や行政、社会貢献活動に取り組む企業・団体等とも連携をとりながら、看護の心と技を織り込んだ「パパの子育て」セミナーを開催するなど、男性の育児参加を積極的に応援する活動に取り組んでいる。



# 住吉大社 種貸社



## ゼロから実践できるパパの子育て講座

